

令和5年3月市長定例記者会見

日 時：令和5年2月28日（金） 午後1時30分～

場 所：射水市役所会議室401

報道出席者：北日本新聞、富山新聞、北陸中日新聞、北日本放送、射水CATV

当局出席者：市長、企画管理部長、企画管理部次長、市民生活部副参事、生涯学習・スポーツ課長補佐、生活安全課長、市民活躍・文化課長

○質疑応答の概要

Q1. 網代団扇について、国内初とはどういう点が国内初か。

A1. これまでにも網代団扇が出土しているが、今回、団扇に墨書きされた漢詩が判読され、その作者が判明したのは国内初である。

Q2. ウクライナ避難民について、情勢が長期化した場合には就労支援など避難民本人が望んでいるのか。

A2. まずはウクライナとロシアの一日も早い戦争終結と、避難民の母国への帰国が一番の望みである。未だ戦闘状態が激しく長期化が懸念され、仕事をして安定した収入を得ながら生活することが安心にもつながる。市としては望んでいる方へ選択肢を広げるということで、働く場の確保について市内業者やハローワークなどと協議をさせていただいている。

Q3. 文化ホールの在り方について。

全員協議会の報告で、既存施設の大規模改修だと高周波文化ホールは89億円、アイザック小杉文化ホールだと64億円とあった。氷見市文化会館規模の新設だと45億円であった。大規模改修の方が新設より費用がかかるものなのか、一般的に費用はそうなのか。

A3. 改修については規模によるところがある。高周波文化ホールについては面積の大きいホールとなっており改修部分も大きい。アイザック小杉文化ホールについては不足している附属施設との集約を図ることになれば、改修と増築費用で経費が増加すると考えられる。

新設の場合は、どのような規模が適切か検討の段階で考えていくべきである。決まった方向性を示したのではなく、これまで検証してきた内容を報告させていただいた。文化施設の複数所有は市として厳しいと考える。

Q 4. 文化施設を集約していく時期は明言できるか。

A 4. 基本構想を示し、詳細設計が出た段階で具体的な時期が出せると思う。

Q 5. 高周波文化ホールの改修費がかなり大きな予算で89億円となっているが、改修は市長の政治的判断となるのか。

A 5. 文化施設改修工事費用は、基本㎡単価に昨今の物価高騰を加味し算出した金額である。内容に何か特別なものを入れたわけではなく、高周波文化ホールがそれだけ大規模施設だということである。詳細を詰めていく中で、金額が変わることがあるということもご理解いただきたい。

昨年度の有識者会議では、射水市の文化振興を図っていく上での方向性や施設に必要な機能などについてお示しいただいた。今年度は各施設の使用状況や利用者、改修費用、環境などを調査した。これらを踏まえ、新年度では庁内会議で構想を固めていくことになる。議会をはじめ様々な方のご意見を聴く場も必要である。最終的に複数の案があがり、どちらの案がより良いのか市長として判断することはある。

Q 6. 網代団扇が出土した時の市長の気持ちは。

A 6. 非常に驚いた。昨年、陰陽道に使われる呪符木簡も出土したと発表させていただいたが、そういったものが屋敷にある、力を持ったあるいは博識のあった人物が居住していたのではないかと、興味深く思いを馳せるところである。

Q 7. 国内初の出土は市民にとっても誇りだと思うが、市民にどういった事を感じてほしいか。

A 7. 鎌倉時代、優美な漢詩を好む博識高い人物がこの地にいたからこそ、射水市の文化が育まれてきているということを感じてほしい。

Q 8. 春の県議選について、以前、自民党候補者を応援すると公言されたが、予定している3人のうち特定の候補者を応援するのか、平等に応援するのか。

A 8. どこかの陣営に力を入れるということではなく、偏りがないよういずれの候補も応援したい。

Q 8. 市長から見て、今のところ射水市選挙区はどういう状況だとみているか。

A 8. 情勢は分からない。日々激しさを増していると思う。最近、SNSなどを使った活動もされており、目に見えているものだけが情勢を表しているわけではない。情勢判断は非常に難しいと感じている。

Q 9. アランマーレ富山がプレーオフ進出を決めたということで、プレーオフの試合会場へは行くのか、あるいはパブリックビューイングへは行くのか。

また、市民へひとこと。

A 9. プレーオフの試合は最大3試合予定されている。3月17日と19日は業務が入っており現地に行くのは難しいが、ファイナルに進んだ場合の3月21日は、なんとか行きたいと思う。パブリックビューイングは行きたい。

アランマーレ富山はリーグに加盟して6年、プレーオフ進出を目標にしてこられた。リーグ参入当初はなかなか勝てない状況も続いていたが、今シーズンで引退の横嶋 遥選手をはじめ、選手の皆さんが練習を重ね、フィジカルトレーニングにも力を入れてこられたと聞いている。その取組みが実を結び、プレーオフ進出を決められたのだと思う。横嶋選手も先日の引退セレモニーで、勝てない時に応援してくれたファンに恩返しをしたいと話されていた。その思いで頑張っただけでこられたと思うので、多くの皆さんにパブリックビューイングに来ていただき、晴れの舞台で活躍する選手の皆さんに声援を送っていただきたい。

Q 10. ウクライナ避難民へのサポートの水準はこれまでと変わらないのか、今後は費用負担もお願いするのか。

A 10. 現在、市営住宅の家賃免除、入居時の家財家電の無償貸出、市民病院での医療費免除、国民健康保険の免除など当初は一年間と考えていたが、戦争が長期化している中、市としては引き続き支援していく。収入を得て安定した生活を望まれる場合、就労のマッチングを図り、一定程度の収入が見込まれる場合は生活状態も考慮の上、費用負担をお願いすることも選択肢としてあるが、今はそのような状態ではない。

Q 11. 市職員の公文書偽造にかかる事案について再発防止は。

A 11. 証明書発行用の偽造防止用紙は通常、鍵のかかる場所で保管しているが、鍵のかからないコピー機のトレイに入った用紙であったことが今回の事例で判明した。これを受け、用紙の管理を徹底していくとともに、職場内でのコミュニケーションや職場環境づくりで、不正やミスを防止していく。